

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦

経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	令和 4 年 8 月 2 5 日（木）～令和 4 年 8 月 2 6 日（金）
用 務 先	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎 2 - 1 3 - 1
用 務	令和 4 年度市町村議会議員研修 住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～
概要及び所見 （目的、参考 にすべき事 項、提言、活用 策等）	<p>講師 京都芸術大学 本間正人 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育学から学習学へ <p>人間は学ぶ存在であり学習する本能がある。学校教育は期間限定であり、最終学歴ではなく最新学習歴の更新が人生を豊かにする。</p> <p>議会・議員の市政報告会では報告会やめた方が良い。対話会、未来を考える会などとし、傾聴に重きを置き、市民の声を色々聞いていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイアログ <p>コミュニケーションの基本は聞くこと。</p> <p>否定しないで聞いていく、肯定しなくても良く、否定しないことが大切。</p> <p>沈黙を破る勇気を出してもらうために何色を思い思い浮かぶかなど、発言しやすい題材からスタートし、参加者見ながら発言をしてもらう。自分の意見を言うことが苦手なのは練習不足、経験不足であり場数を踏むことで克服する。人間の学習力はすごい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの 3 つの機能 <p>理解を増やす。人間関係に影響を与える。信頼関係を築く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションのポイント <p>相手の立場に立ったわかりやすい伝え方をするのである。人とは見かけによらない、コミュニケーションを取れば取るほど相手への理解が深まる。聞く力=人間力で</p>

あり、『聴政』は人の話を聞くことが役割であり、地方議員にも求められているが、なかなか難しい。

共感欲求≠有能性の証明(昔は戦闘能力、今は問題解答力)であり、相槌、頷き、繰り返し。アクティブラーニングの3要素である。

また、これは夫婦円満の秘訣でもあり、市民との対話の中でもこのような話をしたら良い。

・コーチングの基本の考え方

教え込むのではなく引き出す。3つのスキル、傾聴、質問(≠詰問)、承認(=ほめる)。頷いてもらえないとトーンが下がってしまう、聞聴く方が能動的であり聴く側のイニシアティブが大切である。

質問は答え得やすい内容からスタートする。興味関心を持たないとコミュニケーションが成り立たない。住民の悩みこと問題点から入ると会話が弾まない。

・質問のスキルとして「ヒーローインタビュー」

ヒーロー(住民)気持ちよく喋れることができる。住民を集めてヒーローインタビュー聞いて、後援会報などを地域メディアとして、問題点より頑張っている話・いい話つまりグッドニュースとして出すと良い。人間関係を作っていくのはコミュニケーションであり、事務連絡では繋がらない、心と心のつながりが大切。

グッドニュースを自分で発信する事はなかなかできない。いろいろな人の情報発信をすることも自治体議員の重要な役割である。

自発性、可能性を引き出すのがコーチングであり傾聴や質問が重要。これで一人ひとりの自発性、ヒーローをひき出す。自発性を引き出さないと人は動かない。

この事がいちばん大切なのは防災分野である。自治体議員に期待されることであり、地域の防災計画に熟知する必要ある。

政治は治山治水の治。1人のアイデアより皆のアイデア(英知)を集める。違う発想が必要であり、政策は無限にある。問いの立て方が悪いと答えが悪くなり、発想が限定されてしまう。無限からスタートすると無限である。若手職員から聴くことにより違う視点で観ることも必要である。

・ストレスマネジメントのポイント

ストレス発散、カタルシス、うちに溜めているのを発散すると良い。非日常性の中に身を置く。まちなか歩き、地方議員のストレス発散法によい。

・ブラインドウオークの実践

相手の立場に立ったわかりやすい伝え方は何か。もう少し右、期日を区切るなど、表現を工夫すると良い。言葉のコミュにケースションには多義性があり、住民にははっきりと伝える。相手の話を聞いて理解する。

地域づくりにおいても、どこに行くのか、目標はなにを目指しているのか。ビジョンの共有し、この地域がこうあってほしい、現状はどこにいるのかなど、強みを発見することが大切である。

・未来のヒーローインタビュー

今日は何年の何月何日ですか？

現在形、過去形で語る。

今どのような気持ちか？

壁だけを見ていると、人生は壁だけになる。上を向いていこう！

目標を達成するための方法は無限にある。理想の未来を描いて逆算する現在の行動をデザインすることが必要である。

住民の生命を守るため、地域で先頭を走る議員になってほしい。

【所見】

『聴政』として人の話を聞くことが地方自治体議員の役割であると改めて実感した。物事によっては、こちら側が良く知っていることもあるので、どうしてもしゃべってしまうことがある。こちらから発言ばかりしていると、住民が話したいことが離せない状況になってしまうことがあるとわかった。普段の住民との対話や議会報告会などで実践していこうと思う。

SNSでの発信の仕方も学習した。今後も研究して住民にわかりやすい発信をしていきたい。

